

KOMAZAWA X RITSUMEIKAN

駒澤大学1(3PK5)1立命館大学



第30回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 準々決勝

準々決勝敗退という現実を前に愕然とするイレブン
PK戦前、全員で円陣を組む選手、監督、コーチたち
7本のシュートを放った原だが、相手のゴールネットを揺らすことはできなかった



7月4日 18:00 鶴見緑地球技場	
駒大1(0-0)1立命大	
得点者(アシスト)	
【駒】80分:高崎寛之2(榊原浩一朗1)	
【立】86分:高橋健史(PK)	
PK戦の経過	
【立】 ³²	
【駒】x	
KOMAZAWA	RITSUMEIKAN
GK ²¹ 山内達夫(3)	GK 修行智仁(4)
DF 塚本泰史(3)	DF 伊庭徹矢(2)
DF 廣井友信(4)	DF 深水章生(3)
DF 伊藤 龍(1)	DF 白井脩平(3)
DF 筑城和人(4)	DF 武宮雅純(3)
MF 菊地光将(3)	MF 朴 世訓(3)
MF 榊原浩一朗(3)	(82分 海野 創(4))
(101分 島田祐輝(2))	MF 西野 誠(4)
MF 東平大佑(3)	MF ²⁴ 永田亮太(3)
(77分 高崎寛之(3))	(78分 ³² 福本尚純(1))
MF 八角剛史(3)	FW 高橋健史(4)
(55分 小林竜樹(3))	FW 古部健太(3)
FW 巻 佑樹(4)	FW 森井惟吉(3)
FW 原 一樹(4)	(95分 安西猛浩(4))
S U B	S U B
GK 三栗寛士(4)	GK ²¹ 上田拓朗(4)
DF 阿部琢久哉(4)	DF 湯浅隆二(4)
DF ²³ 小野里銀児(3)	DF 長谷川卓登(2)
MF ²⁸ 山崎健太(1)	FW ³⁵ 木村太輔(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 衣川和宏
[シュート]28:24[GK]16:16[CK]8:6[PK]0:1[直接FK]32:28[間接FK]13:2[OS]13:1[主審]今村義郎[観衆]約300人	
上記データは全て左側の数字が駒澤	



「この悔つたのを胸に」
駒大イレブンはヒッチに崩れ落ちた。夏の大阪、駒大は今年も準々決勝で姿を消した。
80分、榊原からのパスを途中出場の高崎がシュート。待望の先制ゴールに沸く駒大ベンチだが、この喜びも束の間、86分にPKで同点ゴールを許し、試合終了のホイッスル。
試合は10分ハーフの延長戦へ。主将の廣井は「お前らまだ足動かさー!」とここからが俺らの見せ場だぞー!とメンバーを鼓舞する。立命大は74分に退場者を出しているため、駒大は数的優位。だが、一人少ないことを感じさせない粘る立命大に対し、決定的なチャンスを作れず、PK戦に突入。
両チームとも選手、監督、スタッフ全員で円陣を組む。緊張感が競技場を包んだ。駒大は後攻。立命大の3人目まで落ちていく決め、駒大3人目の番に。そして、築城の放ったボールは枠を外れた。立命大は続く4本目、5本目を決め、駒大の敗退が決まった。
問題はPKではない。90分間で勝つつもりだったから、PKの練習はしていなかった」とは原のコメント。問題は、90分間の中であつたチャンスを物に出来ず、守りきれなかったこと。この涙を無駄にしてはいけない。リーグ戦、インカレを笑顔で終えるために、この現実を受け止めなければならぬ。(伊藤優香)